



SCE プラットフォームの概要

この章では、サービス コントロール ハードウェア コンポーネントである SCE 2000 4/8xFE プラットフォームの概要を説明します。

SCE プラットフォームについての情報

Service Control Engine (SCE) プラットフォームは Cisco Service Control ソリューションのハードウェア コンポーネントであり、インターネットや IP トラフィックの観察、分析、および制御をサポートするように設計されています。次の表に、SCE 2000 プラットフォームのモデル情報を示します。

表 2-1 SCE プラットフォームのモデル情報

モデル番号	SCE 2020 4/8xFE
リンク タイプ	ファースト イーサネット
ポート数	4
リンク数	2

- [前面パネル \(p.2-2\)](#)
- [背面パネル \(p.2-4\)](#)
- [梱包内容の確認についての情報 \(p.2-5\)](#)
- [SCE 2000 インストレーションチェックリスト \(p.2-6\)](#)

前面パネル

SCE 2000 の前面パネルは、ポートと LED で構成されています（次の図および表を参照）。

図 2-1 SCE 2000 の前面パネル

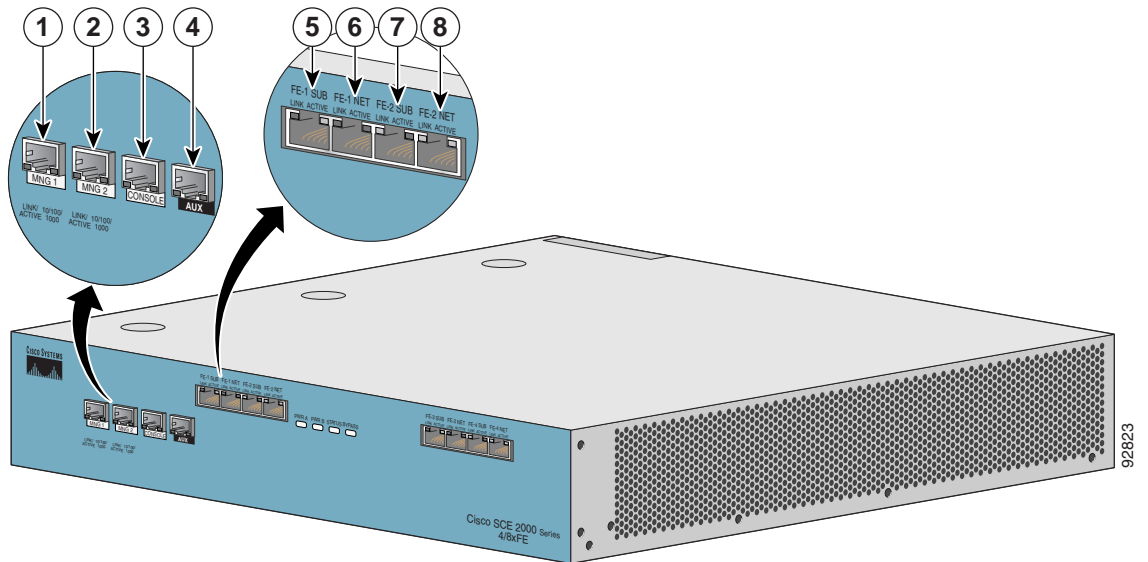


表 2-2 SCE 2000 のポート

ポート	数量	説明	ポートの接続先
MNG 1/MNG 2	2	SCE 2000 を管理するための 10/100/1000 イーサネット RJ-45 ポート CLI 指定 : interface Management 0/1、0/2	RJ-45 コネクタ付きの FE ケーブルを使用する LAN 冗長管理インターフェイスのために両方のインターフェイスを使用する場合、スイッチ経由で両方のポートを LAN に接続してください。
CONSOLE	1	技術者が使用する RS-232 RJ-45 ポート	RJ-45 コネクタ付きの RS-232 ケーブル（SCE 2000 キットに付属）を使用するローカル端末（コンソール）
AUX	1	技術者が使用する RS-232 RJ-45 ポート	
FE ポート 1 ~ 4	4	回線に接続したり、2 台のデバイスをカスケード接続するためのファーストイーサネットポート CLI 指定 : interface FastEthernet 0/1 ~ 0/4	各種トポロジのケーブル接続図については、「 ケーブル接続図 」(p.6-2) を参照してください。

表 2-3 SCE 2000 の LED グループ

LED グループ	説明
POWER A	<ul style="list-style-type: none"> グリーンに点灯 — 電源装置 A が正常に機能しています。 レッド — 電源装置 A が搭載されているが、誤動作しています。 消灯 — 電源装置 A が搭載されていないか、または障害があります。
POWER B	<ul style="list-style-type: none"> グリーンに点灯 — 電源装置 B が正常に機能しています。 レッド — 電源装置 B が搭載されているが、誤動作しています。 消灯 — 電源装置 B が搭載されていないか、または障害があります。
STATUS	<p>STATUS LED は、次のように、SCE 2000 システムの動作ステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消灯 — いずれの電源装置からも電力が供給されていません。 オレンジ — システムが起動中です。 グリーンに点滅 — システムが完全に動作可能です。 オレンジに点滅 — システムが動作可能であるが、警告状態です。 レッド — 問題または障害があります。 <p>アラームには階層があります。障害は警告よりも優先し、警告は動作可能よりも優先します。</p>
BYPASS	<ul style="list-style-type: none"> グリーンに点灯 — トラフィックが内部の電気的なバイパス モジュールを通り、SCE 2000 をバイパスしています。 単一 SCE 2000 トポロジ — SCE 2000 は Bypass モードまたは Sniffing モードです。 カスケード型トポロジ — SCE 2000 が別の SCE 2000 にトラフィックを転送していて、転送先でトラフィックが処理されています。または、単に Bypass モードであるため、内部を通るトラフィックは処理されていません。 消灯 — トラフィックはバイパスされていません。 単一 SCE 2000 トポロジ — SCE 2000 は正常に動作しています。 カスケード型トポロジ — アクティブな SCE 2000 は正常に動作しています。
FE ポート	<p>FE LED は、次のように、SCE 2000 回線ポートの動作ステータスを示します</p> <ul style="list-style-type: none"> ACTIVE — グリーンに点滅している場合、パケットが送受信中です。 LINK — イエローに点灯している場合、ポートで信号が識別されています。
MNG	<p>MNG ポート LED は、次のように、SCE 2000 の帯域外 LAN ベース管理ポートの動作ステータスを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> LINK/ACTIVE グリーン — ポートリンクが起動しています。 消灯 — ポートリンクがダウンしています。 10/100/1000 グリーンに点灯 — ポートが 100 Mbps に設定されています。 消灯 — ポートが 10 Mbps に設定されています。 オレンジ — ポートが 1000 Mbps に設定されています。

背面パネル

SCE 2000 プラットフォームの背面パネルは、次のコンポーネントで構成されています。

- ON/OFF スイッチを備えた現場交換可能電源装置 × 2
- 現場交換可能ファン モジュール × 1
- アース接続部

次の2つの図に、AC および DC 電源 SCE 2000 プラットフォームの背面パネルを示します。

図 2-2 SCE 2000 の背面パネル : AC 電源

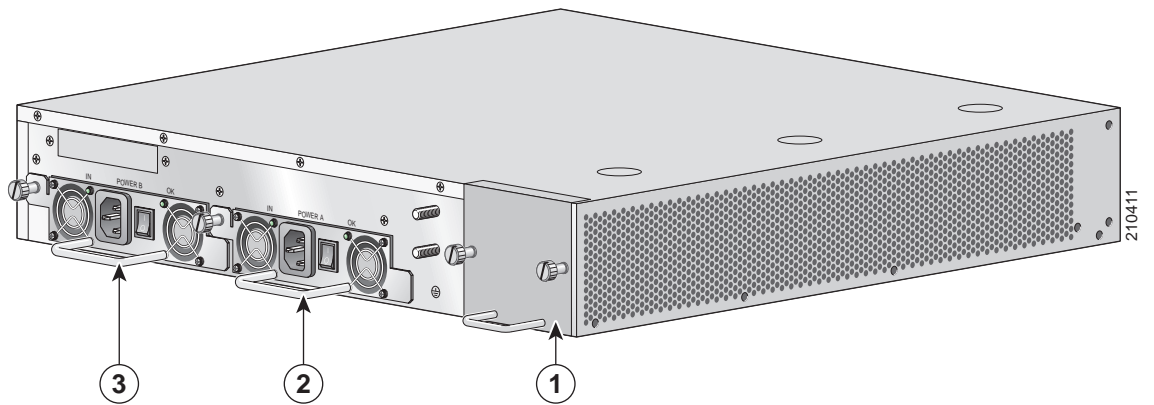
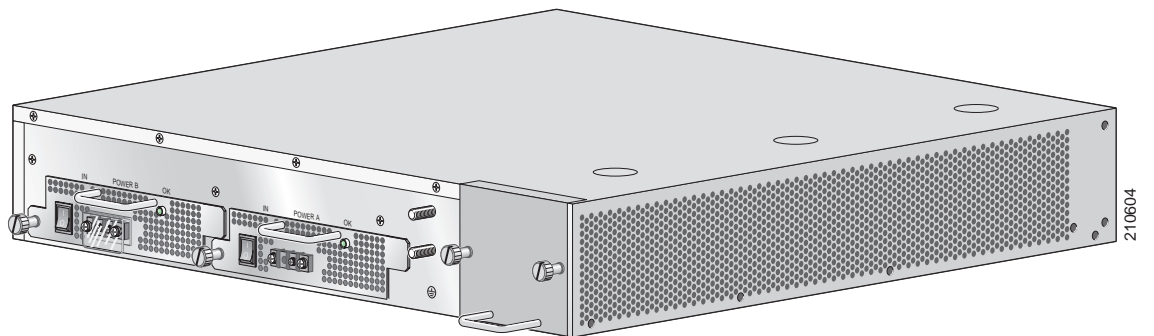


図 2-3 SCE 2000 の背面パネル : DC 電源



梱包内容の確認についての情報

SCE 2000 プラットフォーム輸送用コンテナの内容を確認するには、SCE 2000 コンポーネント リストを使用します。

輸送用コンテナは保管しておいてください。後日、SCE 2000 プラットフォームを移動または輸送する場合に、このコンテナが必要になります。

- SCE 2000 のコンポーネント リスト (p.2-5)

SCE 2000 のコンポーネント リスト

表 2-4 SCE 2000 のコンポーネント リスト

コンポーネント	説明
SCE 2000 プラットフォーム	AC または DC 電源装置を装備した SCE 2020 4xFE プラットフォーム
アクセサリ	次のアクセサリは別の輸送用コンテナで届けられる場合があります。
ラックマウント キット	<ul style="list-style-type: none"> • 19 インチ ラック用のマウント ブラケット × 2 • 8-32 x 3/8 インチのネジ (プラス) × 6 (ブラケットを SCE 2000 シャーシに取り付けるためのもの) • 19 インチ ラック用の支持マウント ブラケット • 前面および背面支柱を備えた 19 インチ ラック用のクロスレール支持バー × 2
管理ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> • 管理ポートに接続するためのファスト イーサネット ケーブル • ローカル端末に接続するための RS-232 シリアル ケーブル (DB-9/RJ-45)
電源コード	AC 電源コード × 2 (AC 入力電源装置を一緒に注文した場合)
アース キット	<ul style="list-style-type: none"> • アース ケーブル • 六角ナット (#1/4 インチ) × 2 • スプリング ワッシャー (#1/4 インチ) × 2
マニュアル	SCE 2000 ハードウェアおよびソフトウェアのマニュアル、および Cisco Documentation CD-ROM パッケージ (発注した場合) *
オプション品	卓上設置用のゴム製の脚 × 4

* マニュアルのタイトルおよび冊数は変わる場合があります。ハードウェアの発注時に、マニュアルのタイプおよび冊数を指定してください。



(注)

各システムに、SCE 2000 のマニュアルセットがすべて自動的に付属することはありません。必要なマニュアルをご指定の上、発注してください。発注したマニュアルが届かなかった場合は、24 時間以内にマニュアルを発送します。マニュアルは、購入した代理店に発注してください。

SCE 2000 インストレーション チェックリスト

インストレーション作業に役立つように、次の SCE 2000 インストレーション チェックリストをコピーして、作業者および作業内容を記録してください。それぞれの作業または確認を行った日付を記録します。チェックリストへの記入が終わったら、新しい SCE 2000 プラットフォームに関する他の記録とともに、サイト ログに保管しておいてください。

表 2-5 SCE 2000 インストレーション チェックリスト

作業	確認者	日付
SCE 2000 の受領日		
SCE 2000 およびすべてのアクセサリの開梱		
安全上の注意および注意事項の確認		
トポロジの確認：SCE 2000 プラットフォームの数、リンク数、およびインラインと受信専用のいずれであるか		
インストレーション チェックリストのコピー		
サイト ログの作成およびバックグラウンド情報の入力		
設置場所の電源電圧の確認		
設置場所の環境仕様の確認		
必須パスワード、IP アドレス、デバイス名など、初期設定に必要な情報の入手（「 セットアップ コマンド パラメータ 」 [p.5-5] を参照）		
必要な工具の入手		
ネットワーク接続装置の入手		
ラックへの SCE 2000 の設置（任意）		
AC/DC 電源コードと AC/DC 電源および SCE 2000 プラットフォームの接続		
コンソール ポートを 9600 ボー、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット（9600 8N1）に設定		
ASCII 端末とコンソール ポートの接続		
FE 管理ポートが動作可能		
FE 回線およびカスケード ポートが動作可能		
ネットワーク インターフェイス ケーブルおよび装置の接続		
システムの電源投入		
システム ブートの完了（SYSTEM-UP LED が点灯）		
システム バナーの表示後、正しいハードウェア コンフィギュレーションが表示		